

令和7年度 静岡県立池新田高等学校 第2回学校運営協議会

1 日 時 令和7年6月19日(木) 午前10時00分 ～ 11時30分

2 会 場 静岡県立池新田高等学校 会議室

3 日 程

- (1) 校内授業参観 10:00～10:30各教室
- (2) 校長あいさつ
- (3) 自己紹介
- (4) 議事（会長が議事進行を務める）
 - ア 教育活動・生徒の状況についての近況報告
(教務部・進路部・生徒部)
 - イ 本年度の地域連携について（副校長）
 - ウ オープンスクール「池高コースフェス」について（校長）
 - カ 質疑応答、学校経営方針の承認
- (5) 諸連絡（副校長）、閉会

4 学校側参加者

名倉靖之（校 長）	小関雅和（副 校 長）
小澤昌通（教 頭）	山下孝弘（事 務 長）
酒井純一（教務部長）	山本浩美（進路部長）
柳澤正人（生徒部長）	

5 学校運営協議会委員（敬称略）

木下裕義(会長)	中部電力浜岡原子力発電所 総務部	2年目
鈴木秀和(副会長)	御前崎市立浜岡中学校 校長	3年目
渥美健二	令和7年度本校PTA会長	1年目
仁平美和子	御前崎市立第一小学校 校長	1年目
松本泰士	株式会社松本印刷 代表	1年目

令和7年度 第2回学校運営協議会・議事録（抜粋）

議事進行 会長 木下 様

校 長：生徒が多様化しているため、一律一斉は難しい。生徒たちが少しでも成長できるよう、意識しながら取り組んでいる。

【学校の近況報告】

生徒部：しぶき祭(文化祭)は大いに盛り上がり、昨年の501名を上回る715名に会場いただいた。生徒が地域の方と交流できる貴重な機会となった。

教務部：本年度の4、5月の出席状況は、全体的に欠席、遅刻とも減少傾向。基礎学力の定着、学び合いの推進に向けた取組を行い、教員はファシリテーション能力の向上に向けた研修を行っている。

進路部：昨年度の御前崎市内の企業への就職者は、就職者57名のうち16名で、例年より多かった。菊川市は16名、掛川市は11名であった。

【地域連携について】

副校長：「行きたい学校づくり」推進事業3年間指定の2年目にあたる。地域おこしプロジェクトのためにダンス部を新設し、地域イベントに積極的に参加している。池高の地域との結びつきを魅力にしたい。

【11月の「池高コースフェス」について】

校 長：11月8日(土)「池高コースフェス」として、本校の各コースの活動を発表する場としたい。本校の生徒にとっても発表する場になるので、学びになると思っている。

【承認】承認の採決を行い、満場一致で承認された。

【委員からの意見】

渥 美：扇風機やエアコンが完備されていて、自分たちの時代に比べると快適な環境で学習できていると感じた。

鈴 木：池高の“自分たちの魅力を出そう、変えよう”という心意気を感じた。授業では、グループで困っている子を助けたりわからないことを聞きやすい雰囲気を作っているところが素晴らしいと思う。先生方にファシリテーションの意識があるのも素晴らしい。

仁 平：“学び合い”については鈴木氏と同感。池高の先生たちの授業改善や意識改革というのが垣間見れた。小中や中高の交流に比べると小学生と高校生の交流はほとんどないが、もっとコラボしたいと思っている。できることから始めませんか。

松 本：地域とのつながり、地域貢献、ボランティアを頑張っている様子がわかってうれしい限り。できれば、清掃や挨拶以外の活動、例えば防災訓練の炊き出しや、子供たちに何かを教えるなどにも挑戦してほしいと感じた。

木 下：我々の学生時代と違って比較的ワイワイ授業をやっていて、“双方向で”できていることがすごくうらやましいと感じた。先生方もご苦労があると思うが、より有効な取り組みの工夫をこれからもお願いしたい。